

# しかおい 議会だより

第155号

## 6月定例議会 ②

新型コロナウイルスワクチン4回目の接種体制を確立ほか

## まちなか会議を開催 ③

5/13 教育委員、5/24 カフェでひとことを開催

## 議員3人の議員が問う ④

スキー場の斜面拡張と倉庫改築を質問ほか

## ぎかいトピックス ⑤

チョウザメ給食、映画「おしゃべりを写真館」ささえ隊



第50回白蛇姫まつり

撮影者 清水 浩徳

7月2日、白蛇姫まつりが3年ぶりに開催されました。穏やかな星空の下、湖面から現れた姫と白蛇が舞を披露しました。

■2022（令和4）年7月25日発行

【E-mail】[gikai@town.shikaoi.lg.jp](mailto:gikai@town.shikaoi.lg.jp)

【URL】<https://www.town.shikaoi.lg.jp/>

■発行者 北海道鹿追町議会

2022年7月

# 新型コロナウイルスワクチン 4回目の接種体制を確立

6月定例議会が令和4年6月20日から24日までの5日間で開催された。条例改正4件、承認1件、補正予算5件、規約変更3件、工事請負契約1件、財産取得1件、請願1件、意見書2件を原案どおり可決した。  
一般会計の予算総額は、1億6033万円を増額し、70億1633万円とした。

## 新型コロナウイルス対策

### 条例改正

○国民健康保険税条例  
○介護保険条例  
新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した場合、令和4年度も引き続き減免対象とする。

### 主な補正予算

○新型コロナウイルスワクチン接種対策及び接種体制確保事業 4045万円

把握し、効率的にほ場を移動できるようにする。  
事業主体はJA鹿追町で、国と北海道の補助金を活用する。  
○地域づくりセミナー 30万円  
ジオパークの事業として、鹿追町の自然・文化遺産に関する地域資源掘り起こしと活用を考える講習会及びワークショップを、全4回開催する。  
第1回は「十勝岳ジオパーク」とかち鹿追ジオパーク」と題し、7月30日(土)午後開催予定である。  
北海道市町村振興協会の助成金を活用する。  
○マイナンバーカード普及促進事業 801万円  
行政手続きのオンライン化等、マイナンバーカード普及促進と町民生活及び地域生活支援のため、令和5年2月28日までにマイナンバーカードの新規交付又は申請をした鹿追町に住所を有する人に対し、鹿追町商工会共栄会の商品券1500円分を配布する。  
○町道美蔓西16線舗装工事 2100万円  
町道美蔓西16線の約960mの舗装工事を実施する。

### 工事議決

○鹿追中学校電源改修他工事 105万円  
鹿追中学校の各教室にエアコンを設置するため、老朽化したキュービクル(電源設備)を更新する。  
落札額は5057万円、工期は令和5年1月31日まで。  
また、鹿追小学校も同様にエアコンを設置する。

### 財産取得

○町営牧場用トラクター購入 70万円  
町営牧場で使用するトラクターを更新する。  
落札額は3102万円、納期は令和5年3月10日まで。

### 請願・意見書

○食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る請願・意見書  
鹿追町農民団体連絡協議会(武藤敦則会長)からの請願を採択し、国に意見書を提出した。穀物の高騰が続いており、食料自給率向上、国内生産の基盤

ついて補助する。  
○町内で食べよう!飲食店等応援事業2022・Winter (観光協会補助) 1020万円  
飲食店への需要喚起のため、ひとり1000円以上の飲食にに対し500円を補助する。  
○観光需要回復支援(観光協会補助金) 1220万円  
観光協会事業に補助する。  
○観光パンフレット整備事業(観光協会補助) 70万円  
観光客誘客のため、たべたびしかおいの内容を一部見直し、2万部増刷する。

### その他議決事項

### 条例改正

○鹿追町の休日定める条例  
鹿追町役場の年末年始閉庁日を12月31日から1月5日までとしていたが、12月29日から1月3日までに改正した。  
令和4年12月から適用する。  
○町税条例  
所得税で控除しきれない住宅ローン減税分を個人住民税から控除する等、改正した。

### 主な補正予算

○特定健診未受診者対策事業 886万円  
国民健康保険加入者のうち40歳以上75歳未満を対象に、特定健診の受診率向上のため、受診勧奨のメッセージを分類して送付する等の対策を行う。  
北海道の補助金を活用する。  
○不妊治療費助成金事業 165万円  
従来より特定不妊治療に対し、北海道と町で助成してきたが、令和4年4月から不妊治療費が保険適用されたことに伴い、新たに女性の特定不妊治療の保険適用分は全額、適用外は1回につき30万円まで、回数は40歳未満は6回まで、40〜43歳未満は3回まで助成する。  
また、新たに男性も助成対象とし、保険適用の場合は全額、適用外は女性と同様とする。  
○鹿追高校協力会補助金 268万円  
鹿追高校が令和5年度から全国公募を実施することから、支援協力を行う機関への加盟料88万円、旅費等94万円を追加し



鹿追高校協力会の看板

また、町内3カ所に設置する看板の掛け替えとして、88万円を補助した。

○伝染性乳房炎罹患牛廃用出荷助成事業補助金 750万円  
黄色ブドウ球菌(SA)による乳房炎に罹患した牛の淘汰を進めるため、1頭当たり5万円以内を助成する。  
事業主体のJA鹿追町へ助成し、事業費は2分の1ずつ負担する。  
○スマート畜産事業導入支援事業補助金 508万円  
JA鹿追町のコントラクター(農家から農作業を請負)作業機械の位置を事務所随時

### 主な質疑

強化、所得補償政策の充実、燃油・資材高騰対策等、新たな施策と予算確保のため、原油価格・物価高騰等総合緊急対策の速やかな実施と食料の自国生産・消費の国民理解と安定供給確保を国に求める。

#### 〔一般会計補正予算〕

#### (台蔵征一議員)

Q 廃屋解体撤去事業の申込件数は。  
A 申し込みが多ければ、さらに予算を追加すべきでは。

Q 現在まで9件の申し込みがあり、5月以降、さらに5件の相談があった。今後の補正を検討する。  
A 今後の補正を検討する。

#### (上嶋和志議員)

Q 町は映画「おしゃべりな写真館」撮影に際し、協力・支援しているが、公共施設の貸与及び契約状況は。  
A 町営・教員住宅、旧筆羅館を無償貸与している。使用後は原状復帰とする。

Q 町は映画「おしゃべりな写真館」撮影に際し、協力・支援しているが、公共施設の貸与及び契約状況は。  
A 町営・教員住宅、旧筆羅館を無償貸与している。使用後は原状復帰とする。



教育委員との懇談会 (R4.5.13)

## まちなか会議

住民と議会を結ぶ

Q マイナンバーカード普及事業で、申請者に商工会共栄会の商品券1500円分を配布するが経緯は。  
A 総務省から普及促進の要請があり、令和5年3月までに100%を目指す。商品券配布により、取得促進と商工業者活性化を見込む。

## カフェでつづき

令和4年5月13日、教育長・教育委員4人と、総務文教常任委員との懇談会を役場委員会室で開催した。  
ICTの活用、小学校の配置適正化等、意見交換された。  
5月24日、議員とカフェでひとことを国際交流センターで開催し、4人が参加した。  
公園の樹木伐採、メタンガスの取り扱い、東京都有楽町のふるさと回帰支援センターでの移住PR、新規就農の促進、町民ホール駐車場に街灯が少なく暗い等の意見が出された。



議員とカフェでひとこと (R4.5.24)



# 町政を問う。

6月23日、一般質問として3人の議員が登壇した。

※各議員の顔写真は事前撮影したものです。

## スキー場

Q 斜面の幅幅と倉庫の改築は

A 具体的に検討する



清水 浩徳 議員

安心・安全な滑走ができるよう斜面を拡幅する考えは。

(答弁) 渡辺教育長 斜面南側は、立木が一部張り出して幅が狭く、安全対策上斜面の拡幅は有効な方策と考える。

(質問) 運動公園スキー場は、ゲレンデ整備が行き届き、斜面は初級・中級者向けであることから、スキー教室開催時は多くの町内外者で賑わっている。

(答弁) 渡辺社会教育課長 張り出している立木の伐採、伐根、整地及び産業廃棄物処理に伴う費用は約200万円だが、秋までに鹿追町スキー協会及びしかおい高尾山スノーパーク実行委員会から意見を聴取し、具体的に検討する。



運動公園スキー場 写真左上の樹木伐採を検討中

(質問) スキー場ゲレンデ用地機を格納している倉庫が老朽化しているが、改築する考えは。

(答弁) 渡辺教育長 ゲレンデ整地機の格納庫は木造で老朽化が進んでおり、各種スキー資材の格納には狭く、一部資材をロッジ内へ収納等、利用者は不便である。物置一体型のゲレンデ整地機格納庫新設や、物置単独の新設、又は遊休物置の移設のうち、収容能力、景観、防犯対策等の機能と費用面を考慮し、検討し改善する。

## 鹿追小の木製遊具の切れ目ない更新を

A 早期に検討する



山口 優子 議員

(質問) 子育て世代からは、大型遊具の揃った公園が欲しいという要望が多い。大型遊具のある公園やスケートボードパークがあれば、子育て支援にもなり、観光客も呼べる。また、鹿追小の木製遊具

(質問) 鹿追小に遊具がない空白期間を作らないようにしてほしい。そのためには、町内の公園にある小型遊具を移設したり、廃タイヤ等を使った手作りの遊具を作る等考えてほしい。



鹿追小の木製遊具 令和4年度末で使用停止

具の廃止に当たり、速やかに新たな遊具を設置してほしい。子どもたちには、コロナによる活動の制限等、我慢を強いている状況のなか、少人数でも元気に外遊びができるためには、小学校の遊具は必要不可欠である。

(答弁) 喜井町長 大型遊具のニーズは高いと認識しているが、設置場所や事業費については検討が必要である。

(答弁) 渡辺教育長 鹿追小の遊具について、現在と同等規模を設置する場合には約3千万円程度の事業費が見込まれる。なるべく早期に検討し提案したい。

(答弁) 喜井町長 鹿追小の遊具の優先順位は高いと考える。手作り遊具についてもボランティアの協力を得ることも大事だが、安全性を第一に考えなければならぬ。

(質問) 町内の公園のあり方については。

(答弁) 喜井町長 町内には大小の公園があり、全体の公園のあり方について町民の意見も聞き、最終的には財源も勘案し、整備・更新を進めていく必要がある。

## 地域貢献

Q 職員の兼業許可基準は

A 労働需要等を検討する



狩野 正雄 議員

(質問) 本町の基幹産業である農業は、繁忙期に労働力確保が厳しい状況である。また、文化サークルやボランティア団体等も会員の高齢化で今後の活動を不安視する声がある。先頃、近隣町において

自治体職員が地域貢献活動として兼業できるよう許可基準を定め、農作業等の支援ができる環境を整えた。職員の兼業基準は。

(答弁) 喜井町長 地方公務員の社会貢献活動は、公務効率や職務の公正確保のため許可制となっている。しかし、人口減少による人材不足等を背景に、兼業や副業による活動が期待されているが、本町では地域貢献活動を想定した判断基準は現状では定められていない。一方、町民の立場で課題解決に取り組むことが必要である。働く人の健康や必要の有無を含め検討する。

(質問) 住民と共に進める協働のまちづくりについては、現状と課題は。



平成館のカフェコーナー 地域おこし協力隊員が勤務

(質問) 鹿追町に地域おこし協力隊が何人来ているか。また、その実態は。

が協働し町づくりを推進している。今後、各種会議等への町民参画と地域マネージャー等を通じ、町民と情報共有を図る。

(答弁) 喜井町長 地域おこし協力隊員は、現在2人が企画課に所属し活動している。協力隊員が地域に根付くことを目的にしている。町もできるだけサポートしていきたい。

## 給食でチョウザメを試食



子ども園の給食(左から)チョウザメのカレー、ミルクスープ、クロワッサン、ゆで野菜スティック、ミルクスープ

5月25日、認定子ども園しかおい及び各小中学校で、チョウザメを使った給食が提供されました。メニューは、子ども園ではチョウザメのカレー、小中学校ではチョウザメのスープカレーでした。

園児は、お散歩で道の駅しかおい直売所のチョウザメ水槽を見に行ったり、育てている職員から話を聞き、チョウザメ給食を心待ちにしています。

チョウザメは自身の淡白な味のため、カレー粉とバターで、人気のカレームニエルに仕上げました。また、小骨がなく、園児にも食べやすい魚だと思えます。今回は子ども園で7匹、小中学校で20匹のチョウザメを使用しました。



認定子ども園しかおい 中村 祐介 管理栄養士

(取材・インタビュー) 山口 優子





中原 文雄さん (2列目中央)、賀来千香子さん (2列目右から3人目)、藤 嘉行監督 (1列目右から4人目)、須永 裕之プロデューサー (3列目中央) とささえ隊の隊員



俳優の中原文雄さんと  
賀来千香子さんが来町



映画「おしゃべりな写真館」  
ささえ隊  
隊長 相澤 政則さん

すてきな鹿追を映画でPRできるよう、少しでもお手伝いをしたいと思えます。  
映画を制作する皆さんが働きやすいよう協力していきたいと思えます。

令和4年5月23日、映画制作会社「和ら美」が、映画「おしゃべりな写真館」制作にあたり、主演の中原文雄さんと妻役の賀来千香子さんが喜井知己町長を表敬訪問しました。  
藤嘉行監督と須永裕之プロデューサーも同席しました。須永氏は「町民の皆様には感謝しております。良い映画を撮るのが恩返しと思えます」と述べました。  
5月25日、映画撮影を応援する「ささえ隊」による懇親会が行われ、中原さんが特技のウクレレを披露する等、和やかに行われました。  
撮影は令和4年7月12日から進行中です。

# 鹿追町議会は、映画「おしゃべりな写真館」を応援します！

— 2023年(令和5年)秋 公開予定 —

## 編集後記

新型コロナウイルス感染拡大が3年目に入り、終息が未だ見えない中、社会・経済活動が、徐々に再開されつつあります。

本町議会も今期が最終年で、各種団体との懇談会や現地調査を意欲的に再開しています。議会広報紙の発行は、通常どおり年8回実施し、町民の皆様へ情報提供を行なっています。

毎回、表紙は議員自らが現地に出向き撮影していますが、大変苦勞しています。ぜひご愛読をお願いします。

議会広報部会 部会員 安藤 幹夫

議会広報広聴常任委員会  
広報部会

- 部会長 台蔵 征一
- 副部会長 清水 浩徳
- 部会員 安藤 幹夫
- 川染 洋
- 山口 優子